

2025 年 08 月 26 日（火）【外為 L a b】松田哲
タイトル：【今年（2025 年）のジャクソンホール会議】

今年（2025 年）の「ジャクソンホール会議」は、先週の 8 月 21 日（木）から 23 日（土）に開催された。

「ジャクソンホール会議」は、米国のカンザスシティ連邦準備銀行が、ワイオミング州のジャクソンホールで、毎年夏に開く金融・経済シンポジウムのこと。

過去の例では、2010 年 8 月に、当時のバーナンキ F R B 議長が、量的金融緩和第 2 弾（Q E 2）に踏み切ることを示唆する講演を行い、金融市場に影響を与えたことが有名。

毎年、この「ジャクソンホール会議」で、F R B 議長が、米国の金融政策の方向性を示唆する可能性があるのも、大いに注目される。

+++++

今年（2025 年）の「ジャクソンホール会議」で、パウエル F R B 議長の講演は、8 月 22 日（金）に行われた。

パウエル議長は、この講演で、早ければ 9 月の F O M C（連邦公開市場委員会）で、利下げに踏み切る可能性を示唆した。

+++++

さらに、パウエル議長は、トランプ関税が物価に与える影響は顕在化しているものの、それがインフレを一段と持続的な形で高くする可能性については、引き続き疑問がある、と述べた。

そして、労働市場については、労働力需給の両面で顕著な鈍化が見られる、と指摘した。

上述のような米国経済に関しての不確実性があるにもかかわらず、パウエル議長は、来月（9 月）16 日、17 日の F O M C での利下げの可能性を示唆した。

+++++

パウエルFRB議長が、来月（9月）のFOMCでの利下げの可能性を示唆した背景には、トランプ大統領からの執拗な利下げ要求が続いていることが挙げられる、と考えます。

トランプ大統領は、明らかに、FRBに影響力を及ぼそうとしている、と考えます。

ただし、米国の金融政策の独立性を考えるならば、トランプ大統領の言動は、間違っている、と考えます。

しかしながら、それでも、トランプ大統領は、今後もさらに圧力を強める可能性が高い、と考えます。

++++
++++

（2025年08月26日東京時間13：45記述）